

# 陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	2 7 1 2	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 24 日
件 名	ひと・まち交流館の会議室有料化の撤回等		
要 旨	<p>市民とのパートナーシップによる市民参加型社会の形成と豊かな長寿社会の実現を目指す拠点施設となる、ひと・まち交流館京都のホームページを見ると登録団体は625団体である。</p> <p>京都市の情報を検索するといろんな言葉が飛び交っている。市行政の第一の役割は市民の想いを受け止め、調整し、市民活動を支える事務局的役割。全ての人が生き生きと活動する。子供から高齢者まで全ての市民が生き生きと暮らせるまち、特に高齢者や障害のある人が住み慣れた地域社会の中で、積極的に社会参加ができる場所や機会に恵まれ、多くの人たちと触れ合いながら社会の一員としての生きがいを持って活躍できるまちの実現を目指す。はばたけ未来へ！京プラン2025（京都市基本計画）では、市民生活とコミュニティ～誰もがつながり、支え合う、多様な地域コミュニティの活性化に向けたまちづくりを進める～とうたっている。</p> <p>このような理念の下、ひと・まち交流館京都の各会議室は大会議室を除き無料提供され、多様な団体、グループの活動を支えてきた。それは多くの人たちと触れ合いながら社会の一員としての生きがいを持って活躍できるまち京都の実現へ向かう道である。</p> <p>この大切な姿勢と基本方針をコロナ禍による利用者減少や財政難を理由に壊してはいけない。大幅な有料化は、資金が潤沢でなくても活動できた全ての人が生き生きと活動する場所を奪うものである。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ひと・まち交流館京都の各会議室（大会議室を除く。）の有料化を撤回すること。</li> <li>2 夜間区分の時間を現行どおり午後9時半を維持すること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		